報道関係者各位
プレスリリース

2026年11月18日
日本体育施設株式会社

哲学堂公園と中野の大学・企業が連携し「哲学の聖地」の魅力を発信
第７回フォトコンテスト受賞作品展を開催

スポーツ施設の建設、管理・運営を専門とする日本体育施設（にほんたいいくしせつ）株式会社（東京都中野区、代表取締役社長：越後 幸太郎）は、指定管理者である東京都中野区の哲学堂公園において、「哲学の聖地」の魅力を発信する第７回哲学堂公園フォトコンテストを開催しました。
コンテスト応募総数160点の中から選出された大賞と、緑と文化の公園賞、哲学と自然の円了賞など合計19点の受賞作品展を2026年11月14日（土）から開催しています。11月15日（日）には表彰式が行われ、中野区内の大学・企業など協力団体・企業の関係者とともに受賞を祝いました。
同コンテストは、地域住民や中野区内の大学、企業が連携し、国指定名勝である哲学堂公園の魅力を伝えることを目的しています。


なかのZEROでの展示の様子

フォトコンテスト概要

哲学堂公園を題材として年齢や国籍を問わず、誰でも参加できるフォトコンテストです。東京工芸大学芸術学部写真学科をはじめ写真用品の開発・販売を手がける株式会社ケンコー・トキナー（代表取締役社長：櫻井 匡）など、中野区内の大学や企業の協力・協賛のもと継続的に実施しており、今年で7回目となります。

第７回大賞作品紹介



「大木に守られる六賢台（ろくけんだい）」富永 賢
【審査委員長講評】
六賢台を正面から捉えた写真は多いが、本作品は視点を変え、力強くそびえる二本の大木の間に配置した構図が印象的である。まるで大木が六賢台を守っているかのようで、作品タイトルとも呼応している。かつて井上円了が蒐集した石器や陶器、神社仏閣の守り札が飾られていたという六賢台。その歴史を感じさせながら、朱塗りの建物と空や木々の色彩も美しく調和し、哲学堂公園の象徴を新鮮な視点で表現した大賞にふさわしい作品である。
審査委員長 上田耕一郎氏（東京工芸大学芸術学部写真学科教授）

報道関係者各位
プレスリリース

2026年11月18日
日本体育施設株式会社

第７回哲学堂公園フォトコンテスト詳細

・展示名：第7回哲学堂公園フォトコンテスト受賞作品展
・主　催：日本体育施設グループ
　　（中野区運動施設等の指定管理者）
・協　力：東京工芸大学（芸術学部写真学科）
　　東洋大学
　　なかのZERO指定管理者
　　公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団
・協　賛：中野区商店街連合会、（株）ケンコー・トキナー
　　（株）フジキン光来、フジヤカメラグループ


なかのZERO本館2階
アトリエDONGURIでの展示風景

・応募資格：中野区在住・在勤・在学に関わらず、参加可能
・応募期間：9月1日（火）～9月30日（水）
・審 査 員 ：上田耕一郎氏（東京工芸大学芸術学部写真学科教授）
　　熊谷正氏（プロ写真家）
　　高橋まゆみ氏（プロ写真家）
　　高橋宏治氏（中野区商店街連合会）
　　ライナ・シュルツァ氏（東洋大学）
　　田原栄一氏（株式会社ケンコー・トキナー）
・展示期間／場所：11月14日（土）～11月22日（日）／ なかのZERO本館2階アトリエDONGURI
　　12月 9日（水）～12月21日（月）／ ケンコー・トキナーギャラリー
・展示作品数　：19点
・詳 細 情 報：https://www.tetsugakudo.jp/photocon
・お問い合せ先：哲学堂公園管理事務所 フォトコンテスト係　03-3951-2515 （9：00～17：00）

哲学堂公園について


六賢台（ろくけんだい）と園内風景

所在地：東京都中野区松が丘1-34-28
運営会社：指定管理者　日本体育施設グループ
明治37年に哲学者で東洋大学の創立者、故・井上円了博士によって精神修養の場として創設された哲学世界を視覚的に表現し、哲学や社会教育の場として整備された公園です。第７回大賞作品題材となった六賢台（ろくけんだい）をはじめとする古建築物があり、2020年に国指定名勝になりました。

【企業情報】
本社所在地：東京都中野区東中野3-20-10
代表取締役社長： 越後 幸太郎
事業内容：スポーツ施設の建設、管理・運営
社員数：153人（2026年３月末現在）

【報道関係者 お問い合わせ先】
日本体育施設株式会社　広報担当：櫻井・細野
✉メールアドレス：koho@ntssports.co.jp
電話番号：03-5337-2611
ホームページ：https://www.ntssports.co.jp/